

# EPNextS、グローバル展開で新たな価値創出へ



「私たちは“革新”と“効率性”を軸に、臨床研究の発展と、アンメットメディカルニーズへの患者アクセス向上に取り組んでいます。」

— EPNextS株式会社  
代表取締役 長岡達磨

グローバルな視点と革新的な人材戦略で新たな価値を創出

日本では世界で初めて「超高齢社会」と定義される水準に到達した国として、誰も経験したことのない課題に直面している。労働力人口が縮小し、医療・介護に対する負担が年々増す中、高齢者だけでなくすべての世代の生活の質を維持・向上させる新たな仕組みづくりが急務となっている。

こうした動きは日本だけでなく、今や多くの先進国が直面しつつある世界共通の課題だ。その中で、EPNextSグループは、ビジネスの洞察力、革新的な人材戦略、そし

て国際的な連携を駆使したソリューションの青写真を描き始めている。

EPNextSは、業界をリードする実績と知見を活かし、日本市場への進出を目指す米国バイオテック企業に特化したソリューションを提供している。By Daniel de Bomford and Paul Mannion

## 医療制度が抱える構造的課題

日本では世界有数の国民皆保険制度を持ち、すべての国民が手頃な価格で高品質な医療サービスを受けることができる。加えて、予防医療や定期的な受診を重視する医療文化が根づいており、医療サービスの利用率は世界でもトップクラスだ。

しかしながら、医療を支える労働人口の減少は、医療の質をどう維持するかという根本的な問題を引き起こしている。研究を行うスタッフが減り、臨床試験に適した患者の確保が難しくなることで、医療技術の革新や新薬開発も停滞するリスクがある。

EPNextSの代表取締役である長岡達磨氏は、このような状況の中にこそビジネスチャンスが存在すると語る。

「米国のバイオテック企業にとって、日本人患者を対象とした臨床試験データを保有することは、製品価値を高めるうえで極めて重要です。特に日本市場のパートナーや投資家にとっては、信頼性の裏付けになります。」

## 日米連携による臨床開発の革新

このようなグローバルな関心の高まりを背景に、EPNextSは米国のFrontage Laboratoriesといった海外企業との連携を進め、日米共同での初期段階の臨床試験を推進している。日本人被験者による早期の臨床試験は、米国バイオテック企

業が次フェーズへと進むうえで不可欠なデータと信頼性を提供する。

「すでに複数のCRO（医薬品開発業務受託機関）とも提携を結んでおり、特定の治療領域に強みを持つパートナーとの協業も積極的に進めています」と長岡氏は語る。

## 海外バイオテック企業の日本進出を包括的に支援

こうした国際的な連携は、海外企業の日本進出支援にも広がっている。日本市場は規制、手続き、学術要件が非常に複雑であり、多くの海外企業にとって大きな参入障壁となっている。

EPNextSの親会社であるEPSホールディングスは、これに対応すべく「IRO (Innovative Research Organization) 事業」を立ち上げ、開発計画の策定、ライセンス戦略、市場参入コンサルティングなどを含む包括的な支援を展開している。

「日本の薬事制度や法規制、申請手続きに関する専門的な知見が求められる中、当社のサービスは各社のニーズに的確に対応しています」と長岡氏。参入を目指す市場や事業モデルに応じて柔軟に戦略をカスタマイズしているという。「IRO事業では、資金調達や研究インフラから事業計画、出口戦略まで、日本での成功を目指すクライアントを総合的にサポートしています」と語る。

また、米国を中心とした海外の学会や展示会にも積極的に参加し、自社サービスのPRとパートナー開拓

にも力を入れている。日本国内だけでなくアジア全域にネットワークを広げ、バイオテック企業との連携を深めながら、米国市場でのプレゼンス拡大も注力している。

## 医薬人材の育成と労働力不足への対応

日本国内においても、医療人材の不足は喫緊の課題だ。薬剤師のような高度専門職を十分に確保することは難しく、人材市場は「非常にタイトな状況にある」と長岡氏は指摘する。

この問題に対応すべく、EPNextSはDIベーシックアカデミーという研修プログラムを通じて、医療資格を持たない人材に対して医薬情報の基礎教育を行い、業務に即したスキルを提供している。

「専門職が本来の役割に集中できるように、業務を分担し、資格のないスタッフでも一定の問い合わせ対応ができるレベルまで育成するのが目的です。」と説明する。

持続可能な医療モデルの構築に向けて

急速に進行する高齢化社会において、EPNextSのような企業の先導的な取り組みは、日本の高度医療体制を持続可能なものとするために不可欠な存在となっている。

今後も世界中のリーディングカンパニーと連携しながら、同様の課題を抱える他国にとってもロールモデルとなる“未来の医療の道筋”を築いていくことが期待されている。



Your Trusted Partner  
in Clinical Development  
Pioneering CRO, SMO and CSO  
Excellence in Japan



EPNextS, Inc.

